

令和5年度 第9回逢妻地域会議 会議録

■日 時 令和6年1月17日（水） 午後6時30分～午後7時40分

■場 所 逢妻交流館 1階 多目的ホール

■出席者

＜委 員＞	岡田 一（会長）	川瀬 光和（副会長）	竹原田 力
	永井 晃彦	中野 有紀	鈴木 靖夫
	松崎 康則	大高 日出子	三村 義博
	岩内 輝義	今村 典生	篠田 和明
	光岡 博	永田 雅司	鈴木 仁
	鷲野 真由美	加藤 圭一	
＜市 長＞	太田 稔彦		
＜関係職員＞	辻 邦恵（企画政策部 部長）	中川 さゆり（地域振興部 室長）	
	野依 真人（企画課 課長）	今村 広和（都市計画課 主幹）	
＜事務局＞	岡本 裕之（挙母事務所長）	田嶋 優俊（地域支援課 担当長）	
	近藤 綾香（地域支援課 主事）		

■次 第

- 1 会長あいさつ
- 2 市長あいさつ
- 3 答申
 - （1）答申書授受
 - （2）市長との意見交換
- 4 所管部への答申内容説明
- 5 その他
地域会議アンケートについて

■議 事（要約）

3 答申

（2）市長との意見交換

主なやりとりは以下の通り

委員：保護司として高齢の犯罪歴のある人の更生に携わっているが、豊田市では犯罪歴がある人の就職や居住場所の確保が難しい現状がある。ぜひ犯罪歴のある人の更生にも寄り添っていただきたい。名古屋市にはそういう方たちのための施設があるそうだが、豊田市はいかがか。

市長：そのような施設については市民の理解が得られるかどうかということもあり難しい問題。社会から孤立した人が犯罪をしてしまうことが多いため、発達障害について多くの人に理解してもらい、孤立する人を減らすことが必要であると思う。

委員：北陸で震災があったが、豊田市で同様の災害が起こった際には、市民としてどのように動けばよいか、備えはどのようにしたらよいか教えてほしい。また、子育て支援を充実させてほしい。

市長：備えは一般的に3日分あるとよいと言われているが、1週間分程度あると安心。また、大規模災害の際には、多くの物資が市の拠点に集まるが、市の拠点から各避難所等への輸送がうまくいかないことが多いということが分かっている。今後は市民の皆さんにも物資を取りに来てもらうことなど、考えていきたい。豊田市は協定を結んだ運送業者と物資輸送の訓練を定期的に行っているが、今後市民の方も含めて訓練を行うことになった場合にはぜひ参加していただきたい。

子育て支援については、高校生までの医療費や公共施設利用の無償化等、順次進めている。市として子育て支援に力を入れて今後でも取り組んでいく。

委員：逢妻地域は公共交通が不便と感じている。高齢になって免許返納をすることも考えると、もう少し利便性が高まるとありがたい。

市長：公共交通については、市民それぞれのニーズが異なるため、難しい。社会全体として、柔軟な対応ができることが理想。高齢者の移動支援については、カーシェアリングという新しい制度が市内で導入されつつある。移動を手助けしてほしい人と、手助けできる人でチームを組むという仕組みであり、今後広めていきたい。

4 所管部への答申内容説明

答申内容について、会長及び6名の委員から説明した。

5 その他

地域会議アンケートについて

事務局から1月中に回答いただきたい旨依頼した。

●次回逢妻地域会議

日時：令和6年3月13日（水）午後6時30分～

場所：逢妻交流館 1階 多目的ホール